



日進北小だより

平成28年12月1日 12月号 第8号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標 ; ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○健康な子

生涯学び、楽しむ学習

校長 中村 勝光

11月1日、市民会館おおみやで小・中学校合同音楽会が行われ、4年4組が出場しました。「はじめよう コンサート」と「大きな古時計」を合唱しました。指導・講評では、「豊かな歌声を創り出し、一人ひとりが音楽と仲良くなっていることが伝わってきました。」「二部のハーモニーが溶け合って表現されているところは、素晴らしい演奏でした。」などのお褒めの言葉をいただきました。大きな会場で、大勢の観客の目の中で、とても緊張しましたが、堂々と歌うことができました。

11月9日から1週間、秋の図画工作作品展を行いました。学校公開日に見ていただいたことと思います。図工の時間に一生懸命取り組んだ力作が、教室や廊下に並びました。特に、図工の時間ではなく修学旅行で製作したのですが、6年生の「ふくべ細工」(ユウガオの実を乾燥させ、二つに切り、色をつけ、お面などにするもの)は、一つひとつ形が違うふくべを、想像を膨らませ、自分の思うとおりに表現したものです。どれもみな個性があり、すばらしいです。

11月29日は、番場公園で校内の持久走大会がありました。これは、本校の「目指す児童像」の一つである「健康な子」を目指し、持久力の向上を図るものです。1・2年生は600m、3・4年生は800m、5・6年生は1,000mを走りました。体育の時間や業間休みに練習し、当日は、その成果を発揮しました。保護者の皆様には、健康観察や当日の応援など、ご協力ありがとうございました。

公民館などでは、多くの方々がサークルをつくり、好きなことを楽しく学んでいます。その学ぶ内容は、社交ダンス、陶芸、コーラスなどいろいろです。これを今の小学校での学習の教科に置き換えると、グランドゴルフ、ダンス、ウォーキングなどは「体育」になり、油絵、陶芸、スケッチなどは「図画工作」になり、コーラス、大正琴、カラオケなどは「音楽」になります。もちろん、俳句(国語)、郷土史(社会)、天体観察(理科)など、これらの教科以外の教科に属することを学んでいる人もたくさんいます。しかし、体育・図工・音楽に属することを学び、楽しんでいる方々の方が多いように感じます。これはおそらく、これらの教科が「人生を豊かにしてくれる」という性質があるからではないでしょうか。とすると、小学校では、人生を豊かに送るための基礎も学んでいることになります。

歌を歌うのは高い声が出ないので苦手だなあ、という児童もいるでしょう。持久走の練習で長い距離を走ることは疲れていやだなあ、と思う児童もいるでしょう。しかし、小学校で様々なことを経験し、学習し、その中から何か一つ好きなことを見つけたいです。そして、それを一生涯にわたって学び、楽しみ、豊かな人生を送りたいと願うばかりです。